

舞鶴亭

図書館だより 100号



いそはにほんしち

たのききなり

たのききなり

はじめに

5年編集長 5C 和田 亮

図書委員の仕事といえば、何を思い浮かべますか？図書室の受付に座って貸出や返却の手続きや学級文庫の管理でしょうか。本校の図書委員はそういった仕事はなくクラスの人たちに図書館に置いてほしい本を聞いたり、本屋さんに行って希望図書を実際に購入したり図書館だよりを制作したりします。今年度は図書館だよりが百号記念ということで、気合を入れて冊子を作りました（例年はA4一枚なんですよ）。本誌には、本校の図書館についての情報や先生方のおすすめ図書など様々なコーナーを設けています。本誌を読むことで今より少し「図書館を利用しよう！」「本を読もう！」と読んでいただくと幸いです。末筆ではございますが、制作にあたってご協力頂きました教職員の皆様並びに4年編集長の瀧口虎琉氏美術担当の下郡季氏を始めとする図書委員の学生に厚く御礼申し上げます。

4年編集長

4S 瀧口 虎琉

まず、本誌は数多くの協力により完成させる事が出来ました。お忙しい中お時間を縫って本誌の刊行に携わって頂いた全ての方に、この場をお借りて感謝を述べさせていただきます。さて、本誌は記念すべき『100号目』ということで、図書委員一同今まで以上の気持ちをこめて執筆致しました。どなたにとっても「楽しめる」「ためになる」と自信を持ってお薦できる仕上がりとなっております。本誌を読んでくださっている貴方の一助となる事を心から願って、これを締め言葉とさせていただきます。

美術部長 5C 下郡 季

栄えある第100号美術部長を務めさせていただきました。主に何をやってきたかという、文字通り美術全般です。本づくりは初めてで、いろんな雑誌や記事を漁りました。美術部門ということもあり、足並みがそろわなかったりいつも纏めてくれた上の編集2人には頭が上がりません。後世まで記念号として残る事に誇りを持ち作成しました。時間が無い中でも良いものが出来たと自負しております。「図書館だより」はこれからも続いてくことと思います。未来の図書委員が「第100号はこんなにすごかったのか」と感動してくれることを、心から楽しみにしています。

目次

ライフラリスランバー … 1

図書館だよりの歴史を紐解きます。

図書館先導 … 3

新入生必見！図書館の使い方！

教員の愛した書籍 … 7

教員より勧められた本を題材に対談をしました。

実用とよばれた本 … 23

先輩の豊富な知識はここからきている！

そして表紙は飾られた … 29

表紙絵コンテストで最終選考まで進んだ作品です。
たくさんのご応募ありがとうございました。



ライブラリスランバー

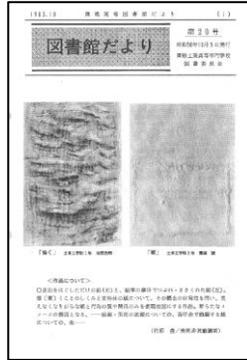
元『ゴールデンランパー（伊坂幸太郎）』首相暗殺の濡れ衣をさせられ、巨大な陰謀に包囲された主人公。数多の伏線の見事な回収と場面転換、つつい読み続けちゃう筆力は正に芸術。'08年本屋大賞受賞作品！

1978



1号

1983



20号

1993



50号

図書だよりの歴史

抜粋

芥川龍之介「十円札」
『暗夜行路』を讀んで
法政大学文学部 志賀道孝

一枚の紙幣をめぐる
堀川保吉の極めて小
説的な心理の動きが
こじんまりとした知
的な心象のアラベス
クを整えている。
(第1号より)

芥川龍之介「十円札」
機械工学科3年野間正泰

ウィーン大学寸景
ウィーン大学は、ドイツ語圏
では最古の600年の歴史を
誇るだけあって、その豪華荘
厳、典雅さは筆舌に尽くせず、
宮殿と見まがうほどです。
(第50号より)



1965

1学級の舞鶴高専が設置
機械工学科2学級、電気工学科

1970

学寮を竣工
土木工学科が増設

1980

第2体育館と武道場を竣工
第2グラウンドを整備

1990

1学級と電子制御工学科1学級
に改組
機械工学科2学級が機械工学科

1994

工学科に改組
土木工学科を建設システム

高専の出来事

国内の出来事

- '66 世界初月面軟着陸成功
- '71 国産初の人工衛星の打ち上げ成功
- '73 第一次オイルショック
- '76 アップルコンピュータ設立
- '79 第二次オイルショック
- '81 世界初スペースシャトル打ち上げ
- '86 チェルノブイリ原発事故
- '86 日本初のコンピュータウイルスが発見
- '91 世界初のWorld Wide Webサイトが開設
- '91 日本人初の宇宙飛行士毛利衛さんが地球を発つ
- '95 阪神・淡路大震災が発生

2003



75号

2013



90号

2022



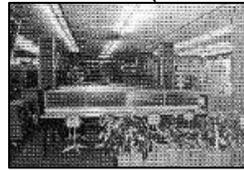
99号



大江山の鬼は懐かしい鬼たちである。地獄絵図に見られる百鬼夜行する妖怪変化のたぐいではない。ユーモラスで、どこか憎めない人間臭い存在であった。(第44号より)

文学と風土 (4)
お伽草子に登場する鬼たち

ーメルヘンの世界



図書館が変わった!

この春休み、図書館は変わった。学生、教官、図書係の手間と工夫のかいあって、明るく見やすい図書館に変わった。まずは一度のぞいてみよう。(第59号より)

もし、この図書館だよりを読んでいるあなたが舞鶴高専の学生であればこの本の名前を知っているはずですよ。(第97号より)



学生による図書紹介
電気情報工学科5年 太田航介
「蹴りたい背中」

2000

工学専攻)が設置
工学専攻建設・生産システム
専攻科(電気・制御システム

2004

に名称変更
電気工学科を電気情報工学科

2006

導入
コースと都市環境コースを
建設システム工学科に建築

2014

学寮の7号館を新設

2015

専攻を追加
専攻科に総合システム工学

USBメモリが誕生

Googleが開設

2ちゃんねる開設

Suicaのサービス開始

小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ

ニホニウムが発見

青色LEDの発明

iPS細胞の製作に成功

月探査衛星「かぐや」打ち上げ

iPadが750万台発売

東日本大震災が発生

VR元年

Switch発売

5Gの提供が開始

'96

'98

'99

'01

'03

'03

'04

'06

'07

'10

'11

'16

'17

'20

図書館先導

元『図書館戦争（有川浩）』表現の自由が過剰に取り締まられる、問題図書や公序良俗に触れるメディアを抹殺するために武力行使がある世界の話です。図書を保護するために、図書隊とメディア良化委員会の聖戦が広がる...でもさすがは有川先生、殺伐な世界設定の中でも王道ラブコメに登場人物の漫談など、バランスの良い展開がとても心地よいです。

図書館は日曜日、国民の祝日（振替休日を含む）及び年末年始を除き、次の通り開館します。

区分	開館時間	
	通常	休業期間(夏季休業等)
曜日		
月～金	8:30～20:00	8:30～17:00
土	13:00～18:00	—

※定期試験前や試験期間中は、臨時会館または開館時間を延長します。

※臨時休刊や開館時間の変更等は、高専のHPにてその都度お知らせします

【図書館利用時のルール】

- ① 入館時には、必ず学生証もしくは利用者カードを持参する。
- ② 館内では静粛にし、他人の迷惑にならないようにする。
- ③ 図書は大事に取り扱い、書き込み、切り抜き、汚損等は厳禁。
- ④ 図書の閲覧後は、図書及び椅子を元の位置に戻し整理整頓を。
- ⑤ 館内での喫煙はもちろん、飲食も禁止。
- ⑥ 入館時には携帯電話の電源を切る。
- ⑦ その他、館内の掲示板及び係員の指示に従うこと。

本を借りるまでの流れ

1 入館

学生証のバーコードを機械に通します。音がなるとゲートのロックが解除されるので、入館しましょう。



4 貸し出し

本を借りる際はまず借りる本を司書さんに渡しましょう。次に自分の学生証のバーコードを読んでもらいます。



2 蔵書検索

目的の本の位置を知らない時は、検索用のPCがあります。そこでキーワードを入力し、本の位置を調べましょう。

3 本の入手

気になる本、目的の本があったら手に取りましょう。本を取る際は本が傷つかないように、ていねいに扱うようにしましょう。



6 書庫

常設の本以外に書庫があります。書庫の本は書庫閲覧記録簿に名前と借りる本を書いてから入ることが出来ます。





蔵書検索の流れ

蔵書はE-ConanOPACにて目的の本を検索して確認することができます。

- ① 検索欄にキーワードを入力します。



- ② 沢山の本の中、目的の本をクリック。
③ 請求記号にカーソルを合わせると本の分類ラベルが出ます。



E-ConanOPAC

舞鶴高専HP>施設・センター
>図書館>新着図書・蔵書検索
>蔵書検索

※QRコードは株式会社デンソーウェブの商標登録です。



司書さんのコメント

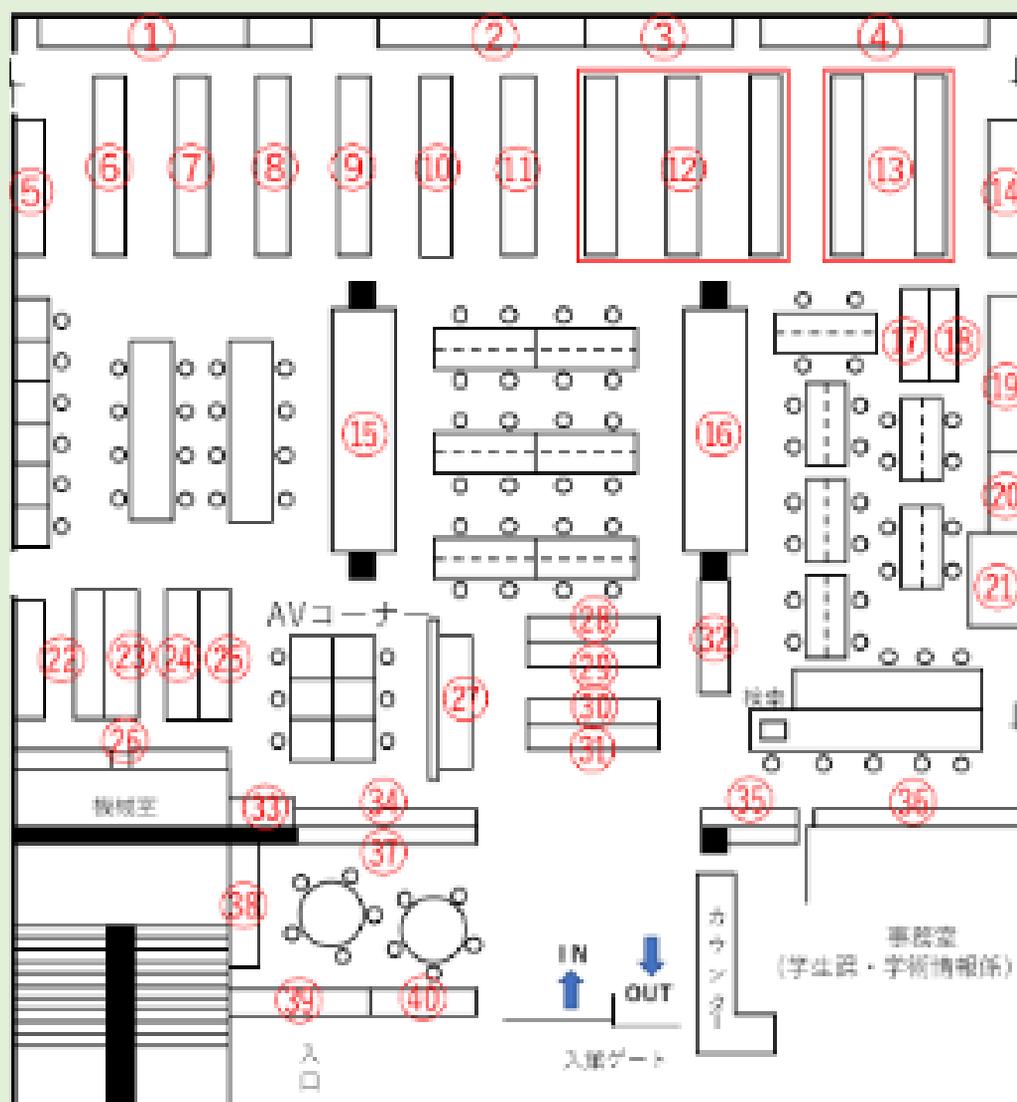
設備は古いけど、他の図書館とは違って専門的な本がいっぱいあるので、みんなに使いやすい図書館にしていきたいと思っています。
本棚に並んでいる本は新しい本なので、少し古くなった本や専門性の高い本は書庫にいっぱいあります。見てみたい人は職員に声をかけてみてください。
置いて欲しい本があれば追加の検討をするので、意見箱にいれるか職員に言ってみてください。

本を探したい時にも、職員に気軽に声をかけてみてください。



職員名
FUJII
NANBU

4. 図書館内の配置、本の位置、種類



- | | | | | |
|-------------------|----------------|--------------------|---------------|------------|
| ① 080 | ⑪ 451~507 | ⑯ 027~932 | ㉔ 002~910 | ㉓ 270~527 |
| ② 701~791 | ⑫ 左 : 507~531 | ⑰ 209,298,408~489, | ⑵ 007~830 | ㉔ 518~521 |
| ③ 791~885 | 中央 : 531~547 | 918 | ⑶ 080 | ㉕ 新聞 |
| ④ 910~988 | 右 : 547~599 | ⑱ 402~472 | ㉖ 007~837 | ㉖ 837 |
| ⑤ 080,304 | ⑬ 左 : 901~913 | ⑲ 080~199 | ㉗ 291,380~420 | ㉗ アドリブコーナー |
| ⑥ 080 | 右 : 547~599 | ⑳ 601~689 | ㉘ 320~507 | ㉘ ㉙ 雑誌架 |
| ⑦ 002~070,202~280 | ⑭ 186,318~392, | ㉑ 810~830 | ㉙ 146~378 | |
| ⑧ 281~336 | 702~748 | ㉒ 080,202~291, | ㉚ 007~913 | |
| ⑨ 339~411 | ⑮ 007~903 | 410~491 | ㉛ 069~546 | |
| ⑩ 411~451 | | ㉓ 025~785 | | |



工



サッカーマガジン ZONE



オートスポーツ



オレンジページ

Kansai W



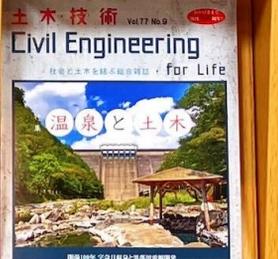
インターフェース



DOS/V Power Report



日経Linux



土木技術



文藝春秋



日経アーキテクチャ



住宅特集



建築知識



トランジスタ技術



トランジスタ技術スペシャル



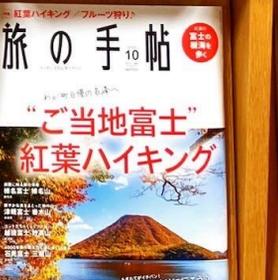
日経コンストラクション



ミュージックマガジン



ノンノ



旅の手帖



日経おとなのOFF



JTB 時刻表



卒業設計作品集



卒業設計作品集



卒業設計作品集



卒業設計作品集

教員の愛した書籍

元『博士の愛した数式（小川洋子）』本屋さん大賞は書店がこの本に送るためだけに作られたともいわれるほどの不朽の名作。無機な数学に尊さを覚え、その輪が広がり深い愛に満ちあふれていく80分。博士の部屋で静かに流れる時間に強かさや厳かさを感じられる文学小説です。

建設システム工学科 今村 友里子 先生

聞き手：5年C科下郡季

喜嶋先生の 静かな世界

/作者：森博嗣/出版：講談社

本との出会い

下郡季(以下、下郡)：

最初にこの『喜嶋先生の静かな世界』とはどのようにして巡り合ったかを聞かせて下さい。

今村友里子(以下、今村先生)：

森博嗣(以降、著者)の他の小説って知ってる？大学院に入った時に、友達にすごく薦められて、『すべてがFになる』から読み始めたんだよ。名古屋大学の建築学科の先生と学生がたくさん出てくる話で、その一連のシリーズの関連の短編集にこの『喜嶋先生の静かな世界』っていうのが入っているの。著者は昔名古屋大学の教員で、文体がすごく合理的で分かりやすい、論文を読んでもみたいな感じで読みやすいの。

下郡：

確かに感じました。主人公の周りだけが淡々と書かれていて、時々未来からの目線が入る。そういった進行の小説でした。

今村先生：

そう、この本はすごくリアルな研究者の世界が書かれていて、だから学生が読めば、これから取り組む研究の面白さとか学問の美しさに触れられると思うんだよ。

この本の印象

下郡：

先生がこの本を一言で言うとは何でしょうか？

今村先生：

「美しい世界」かな。学生時代って色んな悩みがあるじゃない？でも全部基本的には人間関係の悩みだって思うの。それから逃れようとしたら結局、“美しいもの”に向き合うしかないって思ってね。例えばこの本で書かれているのは解析だけど、多分みんなにも美しい物があると思うの。研究じゃなくても良くて、例えば絵を描くでも良いし映画にのめり込むとか。自分なりの美しいと感じるもの、俗世間を一瞬忘れられるようなものを見つけてそこに向き合うっていうのが一番精神衛生上いいんじゃないかなって思うの。



コミュニケーションは極力取らず、物理学に熱中していた主人公が大学の研究室に入る所から物語は始まります。研究の人生における一つの美学を、二通の書き方で描かれています。これから研究に励む人はもちろん高専生活が面白くないと思える人にもおすすめです。

下郡：

自分もあります。絵を描くもそうですし、建築を見に行くとかですね。

今村先生：

だからタイトルにある「静かな世界」っていうのはたぶん周りの雑音みたいなものから切れて数式だとかに真っ直ぐ打ち込める美しい世界なんじゃないかなって思うんだよ。そういう意味で一言で「美しい世界」かな。

下郡：

作中でも描写があった、先生とお酒を飲みながら夜が更けるまで話すとかも美しい世界ですよ。

今村先生：

私もあの建物いいよねとか、あの本読んだとかそういうことを話すのがすごい楽しい。世界中で同じことを考えているこの二人にしかわからない議論をしている時間ってさ、すごい幸せなんだよね。

下郡：

自分もあります。絵を描くもそうですし、建築を見に行くとかですね。

今村先生：

だからタイトルにある「静かな世界」っていうのはたぶん周りの雑音みたいなものから切れて数式だとかに真っ直ぐ打ち込める美しい世界なんじゃないかなって思うんだよ。そういう意味で一言で「美しい世界」かな。

下郡：

作中でも描写があった、先生とお酒を飲みながら夜が更けるまで話すのかも美しい世界ですよ。

今村先生：

私もあの建物いいよねとか、あの本読んだとかそういうことを話すのがすごい楽しい。世界中で同じことを考えているこの二人にしかわからない議論をしている時間ってさ、すごい幸せなんだよね。

この本の感想

下郡：

先生はこの本を読んだ当時の感想、今の感想はどういったものですか。

今村先生：

私最後まで泣いちゃうの。主人公が先生のことを想って夜空を見て歩いているシーンがあるじゃない。主人公は社会という俗世間に葛藤して研究から離れていくんだけど、師匠をずっと尊敬して、自分の人生とは違ってしまったって感じる。喜嶋先生は今後も静かな世界で生きて行くだけなんだよね。

一物語の核心を突く内容になったので割愛ー

あとキャラクターがいいよね。著者の作品を象徴したキャラクターは、ほかの作品でも喜嶋先生みたいな人でどこまでも研究者なんだよね。自分の時間を大切にしている、たぶんそれを作者が美しいって感じているの。逆に人の時間を奪うことは悪だ、みたいな考え方なんだよ。

今村先生：

高専の教員は皆んな研究者で自分なりの美しいと思うことがあって。教員はその話が学生とできるってとっても嬉しいと思うよ。舞鶴高専ってそんなことしやすい環境なんだよ。「先生、なんか面白いことないですか」「先生の研究ってこういうことなんですか」とかそういうふうにご利用したらいいじゃないと思う。図書館も誰も行かないけど図書館に行ったら本があるんだから本が読める。あとは映画を観て、漫画も読んで、そして話を聞きに行くなら美しいことを聞きなさいと。その方がよっぽど学生の楽しさを味わえるんじゃないかな。そこはやっぱり高校と高専の違う所だから。学生を楽しまないと損じゃない。

なぜ薦めたのか

下郡：

この対談を通して、本の内容だけでなく高専のあり方まで教わった気がします。では本題に移るのですが、今村先生はなぜこの本を自分にお薦めしたのかを聞かせていただけますか。

今村先生：

がんになったじゃん私。もう治ったんだけど一応再発の危険性があるから、私、あと5年間ぐらいで死ぬんだって思って生きてるんだよ。がんが再発するとしたら5年間以内が危ないっていう基準があるの。そうしたらね、本当に無駄な事したくないっていうか、なるべく“美しいもの”だけで自分の世界をうめておきたいなって。みんなもそんな風に想像してみてよ。

下郡：

奇しくも高専本科が5年間なので、どうせなら色々な先生から美しい物を吸収して死んだほうがいいって思いますね。

今村先生：

そうそう。もし一年で入学して5年で死ぬって言われたらどうする？って。「高い頂に登れば登るほどほかの山も見えるようになる」ってセリフがあったじゃん本に。一つのことを突き詰めるっていう方向性も大事だけど、裾を広げていくという方向もやっぱり同時に必要なの。建築のこと本当に突き詰めてやっていこうとしたらけっこうほかのこと勉強したほうがいいの。神聖な空間を作るんだったら文化とか、絵画、宗教とかを知らなきゃいけないじゃない。高校ではできないよ。そういう話をできる環境ってないよ。“高専の学生”として有意義な時間を5年間過ごして欲しいって思うね。

下郡：

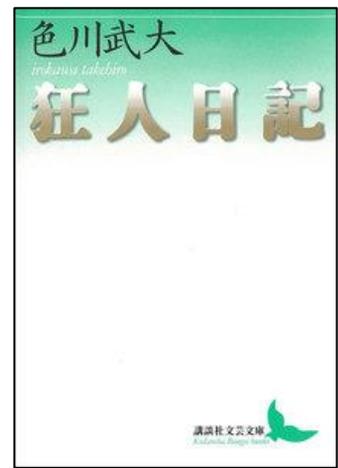
最後にアドバイスまで、ありがとうございます。課題の時は質問攻めしに研究室まで行かせてもらいます！

今村先生：

全然いいよ。私もエスキスチェック大好きだし、是非ね。

狂人日記

/作者：色川武大
/出版：講談社文芸文庫



山根秀介准教授(以下山根)

色川武大(作者)さんのもう一つの名前は知ってる？

町野

知らないです。

山根

阿佐田哲也って言うんですけど、それは何かって言うこの人は大の麻雀好きなんです。麻雀について書くときは麻雀やりすぎて朝だ徹夜だということで、阿佐田哲也という名前です書いてます。そっちの方がむしろ有名なかな。

町野

そうなんです。正直、自分的にはちょっとオチがよくわからなかったのが感想というか。最後に圭子(作中の登場人物、物語の途中で主人公と同棲を始める)を寝取られて終わるってわけでもなさそうですし、なんか…幻覚みてオチ？みたいな。狂人の日記なのでオチ自体無いのかな、とか。

山根

まあオチどころって感じじゃないか別にこの後どうなってもある意味いいかもしれんし。なんか書けそうなこと言うわ。自分がこの小説良いなと思ったところは…まあ狂人ということで、精神を病んでるんやけど、それが凄く文章に表れてて、この文章って特に最初の方、妙にノイズが無いんですよ。透明に記述してあって、それが、凄い狂った感じが出てて、この文章を読んでそれが良いなっていうのが、分かりやすいところかな。

町野

自分も書けそうなことをちょっとだけ…前図書館で『限りなく透明に近いブルー』っていうのを借りて

山根

読んだん？

町野

途中でやめちゃったんですけど、あれってずっと淡々と主人公の見てるその薬物とか爛れた性生活というか、そういうのがずっと透明な感じで続いてて、それに近いものを感じたみたいな。

山根

なるほど、めちゃくちゃ良い感想やんか！たしかあれって、会話とかが鍵括弧に入ってなかったりすることあるやん、そういう地の文と言葉が混じってる感じが言葉が他人事というか、外から見てるんやなって感じが出てて、そこが良かったね。後は…狂人日記のこの台詞が真に迫っててすごいいいなって思う。

『(前略)だがな、ただ君のお荷物になってるのがこたえているんだ。俺たちの病気はそういう屈託が毒さ。俺はどんどん悪くなる。それが君にわかっていない。仕事を選べて——？俺を肩のようにあつかえ。亭主の真似事をさせるなら、うんとこき使え。くたびれて死んだって、それでいいんだ。俺はそれで救われる』

町野

あれっ、これって伏線とか…？

山根

いや、別にそういうわけではないかな。なんていうか文芸って伏線とかでは無いのよ。芸術作品やから、あまりこう、エキサイティングとか、そういう感じではない、かな？

町野

伏線は漫画からでうまれたとか、そういうわけではない？

山根

うん、元は小説やと思うけど。伏線もオチもあるのはなんやろ、サスペンスとかエンターテインメント小説とかかな。

町野

伏線は漫画からでうまれたとか、そういうわけではない？

山根

うん、元は小説やと思うけど。伏線もオチもあるのはなんやろ、サスペンスとかエンターテインメント小説とかかな。

町野

あっ、後、幻覚の描写が面白かったですね。誰かに殺されて殺し返してお互いむきになって止められなくなって、それを何千回、何万回もするから、そんなに長くやってるんだっていう。

山根

やっぱりこの人自身がそういう、本当に幻覚が見えてた人やったから、妙なリアリティがあるよね。(主人公が)小さい頃に自分で勝手に相撲の番付作ってやってるとかさ。

町野

ああ、どんどん大きくなって収集がつかなくなるやつ。

山根

普通の人精神病を想像して書くのとは違う、ほんまにリアルな感じが面白いよねっていう。後なんやったけ、主人公の弟が『満員電車のように暮らしたい』とか、あれもすごい真に迫った言葉やと思う。

町野

あんまりよくわからなかったですね。ずっと人と関わっていたいみたいなの？

山根

だから、人類補完計画みたいなことやる、知らんか。

町野

エヴァのやつですよ。そういえば主人公は弟の生き方を清濁併せ呑むバランスを取った生き方って評価してましたけど、あれってどういう意味なんですかね。

山根

いや〜、それはまあ君が考えてくれ。自分は満員電車で暮らしたくは無いけど。

町野

弟も若干狂人ですよ。

山根

まあ、そやね。

町野

主人公のお尻に何年も治らない出来物ができて、膿が出て臭いからそれを人に見せるのが恥ずかしいみたいな描写あったじゃないですか。最初らへんはわりと出てきたけど、圭子と同棲してからはまるで無かったものみたいになってるのが気になりましたね。

山根

あ〜、それなんか意味あるんじゃない。うん、文学やしそういう病気とかひとつひとつの描写を考えてやってるから。やからいろんなものが繋がってるわけ。いいですね〜。これ大丈夫？お父さんお母さんに見られんかった？

町野

普通にリビングに置いてました。

山根

大丈夫かなって思われんかった？

町野

まあ大丈夫だと思います。

山根

…はい。もういいんちゃう？結構いったでしょ。

町野

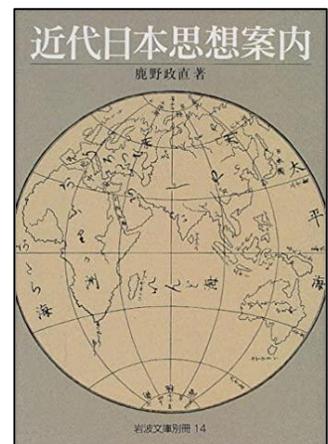
そうですね、本日はありがとうございました。

人文科学部門 牧野雅司先生

聞き手：1年3組田畑宥大

日本の近代思想案内

/作者：鹿野政直 /出版：岩波文庫



お薦めの理由

：この本は近代において人々が経験してきた様々な矛盾や問題を、その根源の部分から解き明かしてくれ、自分の身の回りのものを一歩掘り下げて考えることができるようになるから。

読んだ感想

：今まで学んだ歴史では扱っていない事象を知ることが出来、楽しかった。近代の思想書や日記から引用して当時の様子を感じることが出来た。

先生からの返答

：1冊すべて読むことは必ずしも必要ではないので、自分の興味のあるところから読んでみてほしい。

自然科学部門 喜友名朝也先生

聞き手：2年2組小林優太

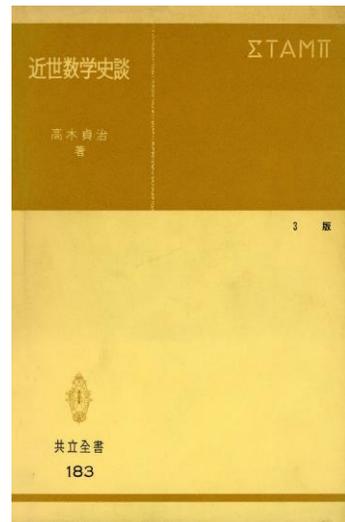
対話・現代数学入門 -すべての人に数学を-

/作者：小針暁宏 /出版：BLUE BACKS



近世数学史談

/作者：高木貞治 /出版：共立全書



小林

おすすめの本は何ですか？

喜友名朝也先生(以下喜友名)

本当は数学以外のものを持ってこよとしたけど、恥ずかしい話昔読書してなくて、数学の本しか読んでなかったの。おすすめの本を二つほど。まず、一つ目は小針先生の「対話・現代数学入門-すべての人に数学を-」

小林

これはどんな本ですか？

喜友名

僕は関西圏に住んでないけれど、小針先生は京都大学の先生で亡くなったんですけど。見てもらえればわかるんですけど普通の数学の本と違って読み物形式でかいてあるんですよ。

小林

話し言葉だからエンタメ的なものを感じますね。

喜友名

加えて、関西弁で堅苦しくないんですよ。内容も結構いろいろ大学の数学に踏み込んだり、高校の数学の範囲もあるんですけど、幅広く扱っていて。加えてこの先生の頭の良さとか切り口が好きなので好きですね。

小林

すごい面白そうですね。

喜友名

ダジャレとかブラックジョークとかもあるんで、それも面白いなと思いながら読んでいただければ。この方の過去本も読みやすいので。他にもいろいろあるんですけど。例えば絶版だからもうないけれどこの本も今皆さんが習っている数学があって、高校の数学の話をしているんですよ。「数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・・・∞高校からの数学入門」これも対話形式なんですよ。

小林

これも対話形式なんですね。小針先生は対話形式が多いんですか？

喜友名

この人のモットーというか、哲学が好きなんですけれども。序文に書いてあるんですけど、「数学が人々から嫌われ嫌厭される理由は様々あるが目に見えない一番の原因はできる人は頭がいいとされる世の中の迷信。みんなそんなんじゃない。もっと数学を自由にしよう」という。この人の哲学なんですけれども、数学ができる人は頭が良いとか数学とは計算術だとか、そういうのを取っ払って自由にやったらいいじゃないかっていう信念が僕としてはいいんじゃないかと。

小林

学問は頭の良さではないと。

喜友名

そうそう、数学っていうのは頭がいい人だけができるとか、そういう知的な遊びなどの偏見はやめようとか、伝わってきて読んでいて面白いのです。だから実費で買って読んでいますね。

小林

この本にいつ出会ったかとか覚えていますか？

喜友名

正直言うと、僕が本を読み始めたのが、数学の本とか専門書とか読んでいたのですけれど、真面目に読み始めたのは高専に行ってからです。小針先生の名前は知っていたのですけれど、たまたま古本屋で安かったからその先生の本を買ったんだと思うんです。それで読んで、この先生の読み方、口調が面白いとか哲学になるほどなってなってファンになってこれをメルカリとかで買ったんですよ。だから時期で言うと高専教員になってからです。

小林

面白そうで、数学に興味を持ってそうだからみんなに紹介したいなと思いました。

喜友名

たぶんブルーバックスですので図書館にあると思いますよ。わからないこともあると思いますけれどそのまま読み進めていってわかる場所があったら考えてみたり、対話形式でジョークとかもあるんでそこを楽しんでもらえたらなと。

小林

ありがとうございます。あとこの本（『本のタイトル』を指して）も紹介してもらってもいいですか？

喜友名

はい。これは定番のド定番で、今の数学者が学生の時にこれを読んで数学にロマンを感じて数学者を志した人が多い。僕より上の世代、40歳とか60歳の人は読んでる。

小林

先生はどんな感じで目指したんですか？

喜友名

僕は大学に入ってbook-offとかで買って、読んで面白くなって。結構これを見て数学者になりたいと思った人はいる。高木貞二っていう日本の数学者で有名な方の本。「近世数学史談」っていうやつで、読んでみたらわかるのですけれど、口調が昔の書き方で固いで今の人は読みにくいと思うのですけれど、その文体だから出る味わいと言うんでしょうね。

小林

格が高いつて言うんでしょうか。

喜友名

そうそう、一流の数学者が描いた本なので、格が高い文で独特な風味があって面白いです。さっきの本より難しいけれど、ガウスとか18世紀とかの数学者を交えているので歴史的に見るのも面白いんです。

小林

歴史書としても見れるんですね。

喜友名

そうそう、数学者のお話みたいな感じで内容を理解するより先に見ましたね。数学者とはこういう人間なんだとかいろいろ感じ取れる。ちょっとレベルが高いんですけど数学に意欲的な人が読んで数学に対するロマンとかモチベーションを上げてほしいですね。

小林

夏休みとか、休みの日とかに読みたいと思いましたね。

喜友名

これはすごく有名な本なので図書館とかにあると思いますよ。これはガウスとかアーベルとかその人たちのエピソードとか、数学の内容も込みで理解したい人とかにお勧めしたいです。

自然科学部門 上杉智子先生

聞き手：4年S組木下大輔

スヌーピーの もっと気楽にシリーズ

推薦理由

- ・専門に関する自身の愛書はあまり受けが良くなさそうなので、万人受けするものを選んだ。
- ・生き方に感動する。

感想

- ・肩の力が抜けて、前向きになれそうに感じた。
- ・訳付きだが英語で書かれているため、英語や勉強が嫌いな人には学習のきっかけになるかもしれないと感じた。

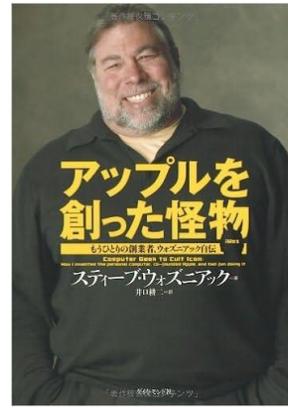


電気情報工学科 七森公碩 先生

聞き手：5E 太田悠暉

アップルを 創った怪物

/作者：スティーブ・ウォズニアック
/出版：ダイヤモンド社



七森公碩先生(以下七森)

僕が一番好きな人なんだけど…、ウォズニアックの自伝をおすすめしてます。

彼はどんな人かっていうと、もともとApple Iっていうコンピュータを作って、それがどんどん進化してってMacになったり…っていう一番最初を支えたのがこのウォズニアックやと。ということで僕はこの本をおすすめするんですけど。

七森

これがまた面白いんですよ。ウォズニアックの学校の寮にブラウン管テレビがあって。で、ザザってなったらみんな叩くじゃん？ウォズニアックはそれを直すんじゃなくて、イタズラに使ったんだよ。いいところで電波を妨害して。

七森

やっぱり今となってはAppleは身の回りにあるものだけど、一番最初に創ろうかと思った人っていうのは好奇心で『面白いな』とかイタズラで『こんなこと考えてやれ』っていうような好奇心を持っているんことにチャレンジしてるウォズニアックっていうのが、すごく高専生に似てるなと。

太田

けっこうウォズニアックはエンジニア系で、マーケティングはジョブズがメインでやってみたいな感じですよな。

七森

そうそう。いわゆる「ギーク」ってやつだね。オタクなんですよ。正にこう…似てるなと、高専生に。だから高専生はウォズニアックを目指してほしいと考えるからこの本がいいんじゃないかなと思う。

七森

まあ、ここまでが概要ということで。文章の方はこんなもんで書けそうですか？

太田

はい、ありがとうございます。高専に来てから本を読む機会っていうのがぐっと減ったんですよ…。やっぱり娯楽がありすぎるのも良くないですね。自伝なんかはもう全然読まないし。

七森

自伝やと僕はニコラ・テスラも結構好きで…。彼はね、やっぱり天才肌なんですよな。彼は頭の中で設計図を構築するんですよ、そしたら、大抵のものは動くんだって！

太田

ちゃんと思い通りに動くんですか？

七森

そう。だから、頭の中で実験できるんだって。だから、頭の中でこれは絶対に作れる。って思ったものが本当に作れちゃう。面白いけどね、もうね、ついていけない。天才すぎて。凄いけどそれができるのはあなただからでしょ、っていう。

太田

歴史的な学者ってそういう人多いですよね。寝てる間に数式が思い浮かんだとか。

七森

僕も昔大学の先生に言われたんだけど、寝てる時も研究しろと。まあ確かに夢の中で計算してるときも何回かはあったけどな。

太田

僕はまだちょっとそこまでは行けてないですね…。



人文科学部門 大内真一郎先生

聞き手：4年C組貫井かな

パトロネ

/作者：藤野可織
/出版：集英社



※注意 ネタバレを含みます

大内真一郎先生

この小説を読んだ人とまず話すのは、これ幽霊話じゃないですか。

ホラーみたいな形で言っちゃうと身構えるので、そういうの全くなさく読んでみるのが一番だけどそれはなかなか難しいので、ホラーって聞いて読んでいって。

普通に読んでいくと、主人公はこの部屋にとりついた幽霊で。最初に登場する妹は途中でいなくなったり太ったり、全く別の人が来たり、これはおそらくアパートの間借り人が変わった。これ、実は僕の先生が薦めてくれて「面白い話がある」って。で僕もこの小説にネタバレから入って。その先生がポイントとしてたわかりやすい場面があるんだけど、写真部に入ってみてみんなで写真を撮ろうって時にこの主人公は顔を振る。これをうちの先生はすごい喜んで、これって心靈写真の逆じゃんっていう。主人公は霊体になっていてその事に本人は気づいていないんだけど、みんなで写真を撮ったってだけでもほんとに霊だからそうしか映らなかった。面白いのが、この主人公自体幽霊みたいなのは一切考えてないでしょ。ちょっと違和感はあったとしても、心理小説として成立してるわけじゃない。それって主人公の気持ちと一緒なんだよね。何となくおかしいなと思いつつ何となくそれを合理化しながら、こうかなーと、妹は太ったんだなーとか、そこの隙間とか、欠けてる部分を自分の話に合うように埋めてるわけ。

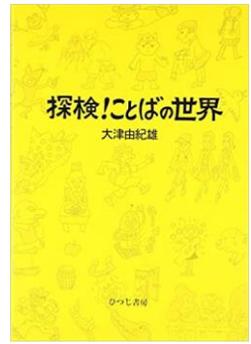
普通に読んでいいたら最初は、妹との関係も良くないし、不安定な大学生の話として読むよね。普通の話って、自分が正常に生きてる人間で幽霊を見ちゃって怖いっていう話なんだけどそれをひっくり返すとこうなるよねっていう、1つはそのアイデアを使ってるよね。じゃあそのトリックが分かったらこの小説を全部わかったかっていう話になるとそうでもなくて、やっぱり重要なのは不安定な人の心理が描かれてて、そこにリアリティを感じるっていうのがないとやっぱり面白くないのかなと。

この小説の良くできるところで、会話成立してないんですよ。本人は会話ができてると思ってる。そこが小説というメディアを最大限使ってるっていうか、小説でしかこれにはできないことだから面白いよね。

タイトルの『パトロネ』っていうのはどう関わっているか。単純に見ると、パトロネってフィルムを入れる殻、入れ物なんだよね。中身（フィルム）は現像する際に抜き取るから空になっちゃう。だからこの主人公はパトロネ（カラ）なんです。「私には妹いたっけ？」みたいな話が冒頭であるよね。パトロネっていう道具は入れ物だから、人に寄生することができる形なのかな。

藤野可織っていう作家は『爪と目』っていうので芥川賞とって。この人、誰が語るとかっていう視点を意識的に作品の中で使うので、『パトロネ』が面白かったらこれもぜひ読んでみたらいいと思う。

小説の歴史の話をすると、19世紀の小説の基本的なものは物語を神の視点から語っていて、それ以前になると叙事詩とかさ、神話とかそういうものだけ。20世紀以降はその人の視点というのもあるよね。その人の見る世界から描いていくとどうなるのかっていうのが20世紀の小説のトレンドというか、それが追及されていった。で、どんどんそれをやっていくと大変なことになって、それをモダニズムっていう考え方。人間の意識というのが非常に混乱したもので、全て小説の中に入れるというような形になると読んでる方は大変なんだよね。この小説のテクニクとか色々な実験とかがされていても、一般的に読まれているものっていうのは、やっぱり古典的な物語の形式ですよ。だから普通の人はお話っていうことだけ、表面の物語だけで読むっていうか小説ってそういうものだって思ってるかもしれないけど、これはそうじゃなくて。この主人公がどういう風にこの世界を見てるかっていうのが面白い点だし、それを読者が感じるのが一番の中心的なもの。この人の主観、語り手の見た世界でしか読者はこの世界を経験できない。これ短いし、誰かと感想言いあったりするのが面白いと思うけど。



探検！ ことばの世界

/作者：大津由紀雄
/出版：ひつじ書房

村上

おすすめの本のタイトル、著者名、出版社をお願いします。

平尾恵美講師(以下平尾)

はい、私のおすすめは「探検！ことばの世界」で、大津由紀雄さんという言語学者が書いた本です。ひつじ書房から出ています。

村上

へー初めて聞きました。

平尾

だと思えます（笑）でも実は、図書館にも入っているんですよ。そういうところも基準で選んでみました。

村上

ありがとうございます。いつ、その本に出会いましたか？

平尾

私がこの本に出会ったのは、大学1回生の春ですね。漠然とことばそのものに興味を持っていたので、言語学系の教養科目を受けてみようと思って、ある授業に出ました。その授業の教科書の1つでした。

村上

それってもしかして、今先生が研究されている「ペン持ってますか？」と聞くだけで相手がペンを差し出してくれるという、コミュニケーションの仕組みと関係する本ですか？

平尾

そうです！「ペン持ってますか？」の例を、私はまさにその授業の初回で経験したんです。授業が昼休み明けてすぐの時間だったんですが、私お昼ご飯食べるの遅くて、着いた頃には教室が結構埋まって一番前の一番真ん中しか空いてなかったんですよ。うわ絶望って思うやん？（笑）で座ったら授業担当の先生が「ペン持ってますか？」のくだりを、目の前の私相手に実演してくれて「なにこれ！たしかに！！おもしろい！！」となったんです。「言語学」という世界に一目ぼれならぬ一言ぼれした瞬間でした。その先生が後の指導教官になります。言うなれば、私の人生を大きく変えるきっかけに立ち会ってくれた本ですね。

村上

その本のおすすめの所とかありますか？

平尾

多分みなさんはものづくりがしくてここにいるでしょうから、「言語学の本紹介されてもな...」と思うかもしれないですけど、この本は、見開き1ページに文字が半分しかないんですよ。もう半分には漫画が使われています。そういう意味で読みやすいし、とつきやすいと思います。

たとえば村上さんは、「バナナワニ」と「ワニバナナ」って言ったらどういものをイメージする？

村上

「バナナワニ」やったらバナナの形をしたワニ（笑）で、「ワニバナナ」はワニの形をしたバナナですかね。

平尾

その直感いいね！そのように語の場所によって修飾関係が変わって、意味が違うんだっていうことをイラストで面白く表してあるんですよ。ほら。

村上

すごい独特なイラストですね（笑）

では、最後にその本を読んだ感想と学生へのメッセージをお願いします。

平尾

そうですね、私もこの本を読むまでは言語学の「げ」の字も知らなかったけど、普段使っていることばを、学校で勉強する文法（活用など）とは少し違うアプローチで分析してみると「こんなふうに実は暗黙のルールの中で使ってるんや」とか「こっちの解釈にならないのにはこのルールが働いてるんからや」など、今まで当たり前すぎて気付かなかったことに気付けます。この本はそういうことを示してくれるもので、すごく感動しました。ことばは、私たち人間にとって欠かせない道具の1つです。ものづくりに興味のあるみなさんにもなくてはならないものなので、ぜひ、楽しくことばの世界に触れてもらえればと思います。きっと、ことばを使うのがもっと楽しくなりますよ！

言語学に限った話ではありません。みなさんには専門を深めると同時に、専門ではないところの知識も広げて、色んな気付きや感動を得て豊かな経験をしていてもらいたいと思います。読書の点から言うと、私のこの本のように、人生を大きく変えるような本あるいは人生の支えになるような本に出会えると良いですね。

村上

ありがとうございました。

電気情報工学科 井上泰仁准教授

聞き手：1年1組坂田雄哉

深夜特急

/作者：沢木耕太郎 /出版：新潮文庫

詳細な計画は立てずに勢いで日本を飛び出す主人公の物語であり、筆者自身の旅行体験に基づいている。当時バックパッカーの間ではバイブル的な存在になった一冊。

坂田

おすすめの本を教えてください。作者と出版社もお願いします。

井上泰仁准教授（以下井上）

深夜特急という本です。

沢木耕太郎という人が書いて、出版社は... 忘れちゃったね。

結構多くて長い本なんですけど突然サラリーマンをやめて、日本から鞆一つでバックパッカーとなってロンドンを目指し、世界中を旅する話です。

坂田

本と出会ったきっかけは何ですか？

井上

僕自身旅行が好きで、海外での原付に憧れて「アンコールワット」を原付で旅行もしました。旅行好きが憧れる本こそが深夜特急だと思います。

坂田

特に作中ではどんな所がおすすめですか？

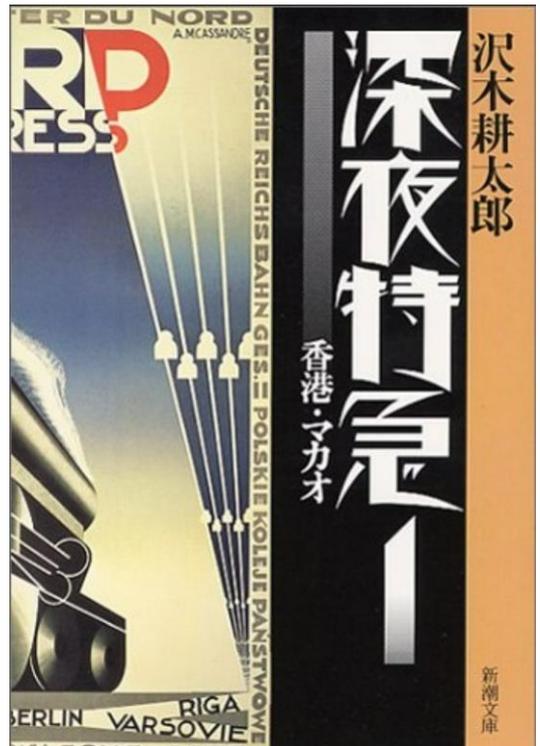
旅行好きである井上先生の視点から、ぜひ教えてください。

井上

色々な土地を訪れるので世界にいる色々な人と会えます。

いろんな人と会って、やり取りするのは魅力的ですね。

それぞれの国や地域ごとに価値観が違うし、考え方も全然違う、色々な地域の人とやり取りして話が進んでいくので、こういうところが魅力的です。



坂田

おすすめできるとしたら、やはり旅行好きの人でしょうか？

井上

旅行好きな人はもちろん、今はコロナで海外旅行に行きづらいですから、「こんなところに行ってみたい」というのを探したい人にもぜひ見てほしいです。

坂田

本の中で現実世界の想像が膨らみますね。

井上

そうですね。ただ40年ほど前の本なので今とはだいぶ環境が変わっています。

けれど、昔の風景を想像しながら訪れるのもいいと思います。

坂田

初めて読んだ時の感想は覚えていますか？

やっぱり、行きたくなったりしました？

井上

初めて読んだときは、僕も海外に行ったことがなかったので、海外の想像を膨らませましたね。

あと、登場人物があんまり計画なくロンドンに行くんですけど、今ならこういうのもいいなあって思います。

生きること学ぶこと

/作者：広中平祐
/出版：集英社文庫

和泉

この本を読んだきっかけは何ですか？

馬越春樹先生(以下馬越)

著者の広中平祐先生は「数学のノーベル賞」といわれるフィールズ賞を受賞した世界的に有名な数学者です。極めて優秀な研究者が「学ぶこと、考えること、創造すること」とは何か、そして何故それらが大切なのかという問いに、どのように答えるのか興味を持ちました。

和泉

この本を勧めてくださったのは、なぜですか？

馬越

この本が皆さんくらいの年齢の若者向けに書かれた本だからです。「学校でいろいろなことを勉強するが、一体その何パーセントが、将来の自分の職業や人生に役立つんでしょうか」学生の皆さんが誰しも一度は抱く疑問ではないでしょうか？この様な問いに対する著者の考えを自身の経験に基づき語ってくれます。

自然科学部門 馬越春樹先生

聞き手：1年4組和泉穂花



和泉

私はこの本を著者である広中先生の自伝だと思いましたが、先生はどのような本だと思いますか？

馬越

私も自伝だと思います。ただ、上に述べた「学ぶこと、考えること、創造すること」がどういうことで、それらが何故人生を豊かにしてくれるのかを語ることが念頭にあり、自分の人生を材料にしてそれらのメッセージを伝えることが主題になっています。また、承認も父親に勉強を邪魔されていた話、大学入試の成績が芳しくなくて奨学金を得るために必死に面接官に食い付いた話など、フィールズ賞受賞者らしくない、笑える話もたくさんあり、鼻につく自慢話ではなく、楽しく読める自伝ではないかなと思います。

自然科学部門 小島広孝先生

聞き手：2年4組久保田脩斗

量子論の すべてがわかる本

/作者：科学雑学研究倶楽部
/出版：ONE PUBLISHING



久保田

先生が学生におすすめしたい本ってありますか？

小島広孝先生(以下小島)

僕がおすすめしたいのは量子論のすべてが分かる本ってやつだね。

久保田

その本とはどうやって出会いましたか？

小島

これは僕がたまたま本屋で怪しいなーと思いながら取りました。でも中を見てみると意外とまともで授業で使えるかもと思いそのまま持って帰りました。

久保田

これ本はどういった人におすすめですか？

小島

この本には数式がほとんどのっていないので数学とかが苦手でも歴史のような感覚で読むことができるから面白いとおもったね。この本を読んでおくと高学年に上がった時にこういう事かーとわかることも結構多いね。

久保田

どれぐらいのレベルの本ですか？

小島

基礎的なことが多く書いてあって入門にいい感じだね。

久保田

この本の中でもお気に入りや好きな項目とかはありましたか？

小島

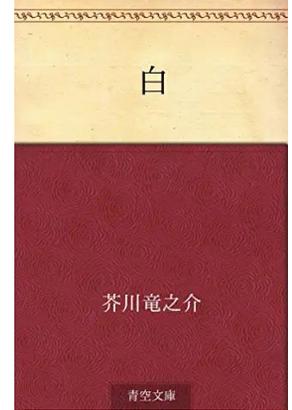
この本は現代物理の最新のところまで書いてあって量子もつれやひも理論とかが好きだね。これ以外にもいろんな内容が小分けでたくさん書いてあるからよみやすいね。

人文科学部門 田村修一先生

聞き手：1年4組伊藤晴紀

白

/作者：芥川龍之介



伊藤

それではよろしくお願ひします。先生のおすすめの本はなんですか。

田村修一先生(以下田村)

芥川龍之介の、「白」という話です。

伊藤

あらすじを伺ってもよろしいですか。

田村

白い犬が友達の黒い犬を犬殺しから見捨てて、気づくと色が黒くなり、野良犬になってしまい、善行えを重ねていくという話です。

伊藤

ありがとうございます。では次に見どころと、この本をおすすめした理由を聞かせてください。

田村

まず見どころは、ストーリーテリングの巧みさ、結末部のカタルシス(後味の意)です。

芥川龍之介の書く童話は素晴らしいですが、この話は一番最後の作品なんですよ。

伊藤

そうなんですね。

田村

次におすすめした理由ですが、芥川龍之介の純真さが素直に表れた、素直に感動できる作品だからです。

「芥川龍之介と切支丹物」という宮坂覚という人が書いた本もおすすめです。

人文科学部門 藤田憲司先生

聞き手：2年4組笹渕秀太

マクベス (Macbeth)

/作者：シェイクスピア



笹渕

おすすめの本は何でしょうか？

藤田憲司先生(以下藤田)

おすすめの本はマクベス (Macbeth) です。シェイクスピアの作品で四大悲劇のひとつでもあります。

笹渕

どのような話でしょうか？

藤田

海外では教科書にも載っているような有名な話であり、領主が王様を殺してからどんどん狂っていく話です。魔女とかが出てきて、魔女たちに領主夫妻が唆されて悪事に手を染めていき、出世していくんですが、精神的にもどんどん追い詰められていくという感じです。話の書かれ方は台本みたいな形になっています。

笹渕

どのような点がおすすめでしょうか？

藤田

どのような点がおすすめかといわれますと、名言が多かったりするところです。英語版の方が言葉遣いが上手いので、読めるなら、そちらの方がおすすめです。また、もともとは劇場で見るようなものなので、そちらをしてみるのも良いと思います。また、解釈の違いなどから多くの亜流がありますので比較して読んでみるのも面白いと思います。

笹渕

どういう人におすすめだとかいうのはありますか？

藤田

どういう人というのは無くて全員に読んでもらいたいという感じです。さっきも言ったように海外で有名なので話の取っ掛かりにもなったりするので是非読んでみて欲しいです。

やさしくわかる シーケンス制御

/作者：石川一平,南裕樹
/出版：オーム社



石川

ぼくは一人で本を書くのは心配やったし、南先生と一緒に本書きましようかって話になって、で南先生が一章と漫画のストーリーをかいて、僕は基本的に二章から五章を。

岩井

じゃあほとんど石川先生なんですね。

石川

そうやな、漫画のストーリーと一章の部分以外はそうやねえ。

岩井

じゃあ特におすすめの部分とあってありますか？

石川

おすすめそうだねえ（笑）、まあやっぱり漫画でかかれてるから素人でもマンガ読めばなんとなく、シーケンス制御がなんとなくわかるかなって（笑）

岩井

ありがとうございます、ではこのぐらいで。

岩井

先生のおすすめの本は シーケンス制御 とのことですが、作った過程やどういう流れで作ることになったのかなど教えてもらいたいなと思います。

石川一平先生(以下石川)

この本を販売するに至った経緯ってことね。

岩井

そうですね。

石川

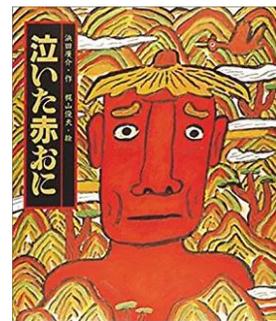
もともと舞鶴高専の南先生っていう先生がいて、学年的には僕の二つ下の学年で、舞鶴高専にいたときは仲良かった先生。そのあと大学に移られて制御についての本を出した後にオーム社からシーケンスの本を書きませんかって聞かれて、でも南先生はシーケンス専門じゃないからほかのシーケンス詳しい先生紹介しますわって話になって、で南先生がここにきてシーケンス制御の本を書きませんかって話になった。

機械工学科 谷川博哉先生

聞き手：2年1組北川拓磨

泣いた赤鬼

/作者：濱田廣介



北川

お願いします。

谷川博哉先生(以下谷川)

オススメの本って言ってもこれといって特にないんですよね。強いて言えば『泣いた赤鬼』ですかね。

北川

ああ、懐かしい、青鬼くん最後自殺するんですけど。

谷川

死なないよ！勝手に殺さないでよ！（笑）村を出ていくんだよ（笑）

北川

そうでしたっけ（笑）知っているようであまり覚えてないものですね。なんでまた『泣いた赤鬼』なんですか。

谷川

多分、幼稚園の頃だったかな。読み聞かせで話してもらって子供心ながら「友とはこういうものなのか！」って思って。友のために村を出ていった青鬼※をみて「一緒にいるだけが友じゃない」のだなと。聞いたそのときは何も思わなかったけど後からじわじわ来た記憶があります。

北川

なるほど、幼少期に聞いた絵本がいまだに心に残っているってなんかいいですね ありがとうございます

谷川

まあ、だいぶ前の図書だよりでもこの話したんだけどね（笑）

海馬 脳は疲れない

/作者：池谷裕二 糸井重里
/出版：朝日文庫



瀧口

よろしくお願ひします。
芦澤恵太先生(以下芦澤)
瀧口君さあ、脳とか興味ある？

瀧口

あります。

芦澤

じゃあこれとかどう？
これはね、うん。面白かったよ。

瀧口

(数ページ読む) 確かに面白そうですね！
お借りしてもよろしいでしょうか？

芦澤

いいよ～、じゃあ良い夏休みを。

瀧口

お忙しいところありがとうございました！

嫌われる勇氣 自己啓発の源流 「アドラー」の教え

/作者：岸見一郎,古賀史健
/出版：ダイヤモンド社



佐々木

おすすめしていただいた理由をお願いします。

内海淳志先生(以下内海)

「嫌われる勇氣」という本をおすすめした理由は、読むたびに新しい発見があったり、読むときの心境で深く読むこともあったり、軽く読んだりもできる、いろんな読み方ができる本。まあ、普通に読書として楽しめる本だなあということでおすすめしました。

佐々木

なるほど。確かに、内容的に気が沈んでときに読むときと、今回のように何もないうちに普通に読んだときでは、感想や感じ方も変わってくるだろうなと思いました。

次の質問です。どういった経緯で先生はあの本と出会ったのですか？

内海

もともと本屋さんに行くのが好きで、本屋さんに行って、すごくキャッチーな、普通そんなタイトルつけないよねっていう本があって、タイトルに惹かれて手に取ってみて、意外にこう、チャライ内容ではなくしっかりした内容だったので、一回読みたいなのとて買った。というのが本との出会いですね

佐々木

では、その最初読んだ時の感想をお願い致します。

内海

読んだときの感想は非常に面白かったですね。なぜ怒るのかとか、怒りについて書いてあって、それに対して、筆者が書いてること。自分自身がその怒ることに対してどういう考えを持って怒るのかというのを照らし合わせたりとかっていうのも面白かったし、書いてあることを自分の経験と重ねて常に考えることが出来るっていうのも本当に面白いと思う。

ゲーデル、エッシャー、バッハ あるいは不思議の環

/作者：Douglas R. Hofstadter
/出版：集英社文庫

澤田

それではよろしくをお願いします

奥村昌司先生(以下奥村)

『ゲーデル、エッシャー、バッハあるいは不思議の環』という本を紹介しようと思います。

澤田

ゲーデルは基礎論のゲーデルですか？

奥村

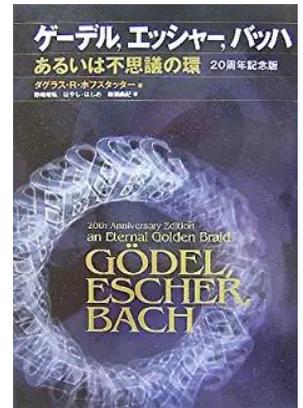
そうです。エッシャーは騙し絵のエッシャーでバッハは音楽家のバッハです。著者はホフスタッターという人工知能とかにも繋がる研究をしている数学者で、この人が高校生時代に読みたかったことを書いた本になっていて、結構分厚いんですけどゲーデルの証明論、論理の話は自己言及を突き詰めた話で、それをバッハのフーガだと主題を取り込んでそれを重ねるといふことにも関係してくるし、エッシャーの絵画も絵を描いてる自分を描くといった自己言及的なことといふ3つの側面を説明している本になっています。表紙も一つのをゲーデル、エッシャー、バッハそれぞれの側面で見ていることを表しています。

澤田

図形をそれぞれ射影するとゲーデル、エッシャー、バッハになるのですね。見ていると基礎論の話はずっとしているのではないのですね。

奥村

そうですね、自己言及であったりくりこみであったりの考え方を親しみやすいものと結びつけているんな切り口で書かれています。読むのは考えないといけないう大変やけど、切り口としては面白く深い話書かれています。出版は君たちの感覚だとかなり古い本だけど水洗しているため図書館に入っています。自己言及の話とか具体的なプログラムのアルゴリズムなども書いていて興味ある人は楽しめると思います。高専生くらいの年代の人で読み込んでおくと教えてもらうことではないようなことが学べます。



建設システム工学科 加登文学先生

聞き手：5年C組和田亮

無人島に生きる 十六人

/作者：須川 邦彦
/出版：新潮文庫

和田

その本に出会ったきっかけは何ですか？

加登文学先生(以下加登)

Kindleの無料本を漁っていて見つけました。

和田

その本を初めて読んだ時の感想を簡単にで大丈夫なので教えてください。

加登

子どもの頃にも読んだ気がしますが、改めて海の男はたくましいなど。

和田

なぜオススメするのかを教えてください。

加登

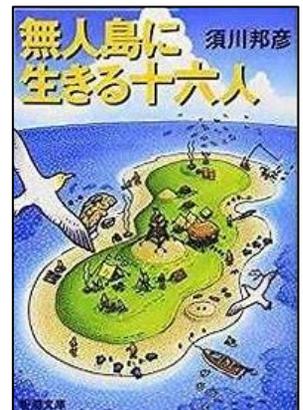
どんな状況でもあきらめない、可能性を信じてやることをやる。といった内容ですので、前向きになれるかなと思います。無料だし。

和田

これから読んでみたい本を教えてください。具体的な本の名前でも、大まかなジャンルでも大丈夫です。

加登

ジャンルでは歴史・時代小説でしょうか。あんまりふるい時代ではなく、明治～昭和くらいのが良いですね。

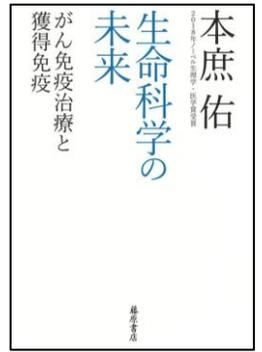


自然科学部門 木村健二先生

聞き手：1年3組廣瀬くるみ

生命科学の未来

/作者：本庶佑/出版：藤原文庫



廣瀬

それではよろしくお願ひします。おすすめの本のタイトルとその本の著者を教えてください。

木村健二先生（以下木村）

本のタイトルは「生命科学の未来」で、著者は本庶佑（ほんじょたすく）さんです。

廣瀬

その本に出合ったきっかけなどがありますか？

木村

私自身、保健体育の授業で免疫について教えることがあり、もともと免疫に興味がありました。そんな中、昨今のコロナの影響で免疫に働きかける「ウイルス」について書かれた本なのがつながりがあるかな？と思い読み始めたのがきっかけです。

廣瀬

なるほど、この本を読んだ時の感想を教えてください。

木村

この本は三章にわかれているのですが、一章は、研究したい！と思えるような内容でした。研究者として科学者に近づく様子が鮮明に書かれていてワクワクしながら読んでいました。

二章では「幸福」を化学的側面から考えた講演についてかかれていて、著者をはじめとする日本を引っ張って来てくれた研究者の皆さんの考えはとでも達観しているなと思いました。三章では静岡県知事と著者との対談が書かれていて、「お金は学問のためにつかう」という考えに感銘を受けました。

廣瀬

「幸福」を化学的に考えるというのは新しい視点で感銘を受けました。

では最後にどういった学生におすすめするかを教えてください。

木村

それはもちろん全学生におすすめしたいです。学生って不安をたくさん持っている時期だと思うんですよね。でもそれは決して悪いことではなくて、それが普通なんです。不安がたくさん＝幸福じゃないのではなく、この本を読んで幸福とは何かという考え方を広げてみてほしいです。

廣瀬

たくさんの質問に答えていただきありがとうございます。

自然科学部門 小野伸一郎先生

聞き手：1年2組上田拓摩

線は僕を描く

/作者：砥上裕将/出版：講談社文庫

キネマの神様

/作者：原田マハ/出版：文春文庫



「線は僕を描く」

小野伸一郎先生（以下小野）

色んな所に線ってあるでしょ？文字とか絵かいたりするときか、建物とか。上田君は得意なスポーツとかある？

上田

野球と水泳は少し得意です。

小野

その野球とか他のスポーツでもスイングするでしょ？そのスイングも軌道が線になっていたりするよね。

上田

そうですね。あとボールとかも。

小野

うん。でこの本はその線について考えさせられる本でねえ。この本の中での線は水墨画の線で、両親を亡くした主人公が水墨画に触れることでちょっとずつ立ち直っていくという内容で、小説でも読みやすいと思うよ。

上田

小説はよく読むので、嬉しいです。

「キネマの神様」

小野

次にこの本はキネマの神様と言って映画を題材にした本だよ。映画にはキネマの神様がいて信じて、本当にどん底状態だったところから映画を通じて周りとの縁を回復させていくっていう物語でねえ。映画とか見る？

上田

スマホとかでは見ますけど、映画館は全く行けてないです。

小野

今はやっぱりスマホかあ。でも映画館のスクリーンで見るのもいいでしょ？映画にもなっていて、主演がコロナで亡くなった志村けんさんがしてるんだけど、亡くなってしまって沢田研二さんっていう人が代わりに代役で出るんだけど、知ってる？

上田

CMとかで流れてきてたりしたので存在は知っています。他にも菅田将暉さんとかも出てますよね。

小野

（モニターを指して）ああこの人か。この人TVでよく見るもんなあ。他にも有名な人が出るし、小説とは違った感じで味わえるから時間がある時に見てほしい。

上田

分かりました。次帰ったときに見てみます。

実用と よばれた 本

元「海賊と呼ばれた男（百田尚樹）」：戦後石油産業において海を駆け回った男の話。自身の祖国・事業・顧客・部下に誇りを持ち、戦後復興の柱にまでなるこの物語は実話を基にした歴史経済小説です。いくつもの壁を越えて商いをする主人公の葛藤や、なぜ海賊と言われるに至ったかが時代背景を含みつつ物語が進行していきます。2013年本屋さん大賞受賞、百田先生の作品の中で「永遠の0」と双璧を成す代表作です。



電気情報 × 電子制御

1. この本は、様々な物理に関するエッセイや解説を書かれてきた江沢先生の文章を選集としてまとめ上げたシリーズの第II巻です。数式に振り回される難解な解説などではなく、電磁気学についてわかりやすくまとめられています。

2. この本は発展演習に特化した電気磁気学の演習書です。電磁気学の問題を解く訓練をする場合この本がおすすめです。教科書を横に置いて勉強すれば、いつの間にか一通りできるようになっています。

3. ある学生の力学が好きになるきっかけになった本です。途中式が丁寧に書かれており、具体例も豊富なためとても親切です。一般の解析力学の教科書ではあまり採用されないトピックが多く取り入れられていて、理解がより深まると思います。

1 相対論と電磁場

江沢洋 上條隆志 日本評論社 2019

2 電磁気学演習 第3版

山村泰道 北川盈雄 サイエンス社 2019

3 現代解析力学 入門

井田大輔 朝倉書店 2021



機械

1 初はじめての治具設計

西村仁 日刊工業新聞社 2020

2 図解 Inventor 実習 第3版

船倉一郎 堀桂太郎 森北出版 2021

3 ロボット考学と人間

森政弘 オーム社 2014

4 必携 からくり設計 メカニズム定石集

熊谷英樹 日本工業新聞社 2017

1. ワークの効率化を目的とした治具作成。その基礎が詰まった本です。位置調整構造の考え方や、それに必要となる部品の使い方が実例を交えながら説明されているので、設計の質向上に役立ちます。

2. Inventorの内部構成に触れており入門書として間違いのない一冊です。わかりやすい図解・飛躍しない手順・21年に第三版出版と最新UIに対応しており、これからCADで設計を覚えない人にぜひおすすめです。

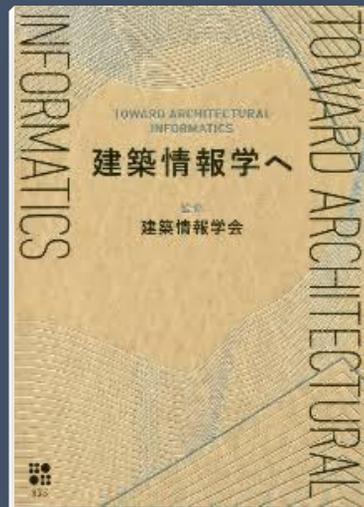
3. 「ロボットとは何か」「人間とは何か」という根本的テーマに、様々な著者の体験をもとにした技術論集です。未来をの技術者・工学者たちへの「考えるヒント」がたくさん詰められています。

ちなみに著者はロボコンの創始者であり、不気味の谷現象の提唱で有名な森政弘氏です。

4. 安易に電気に頼らずリンクやカム機構を駆使した自動化について熱く語られた本です。基本メカニズムが良く解り、立体的に書かれた機構図は見ていて楽しいです。



2



1

建築



3



4

LIBRARY

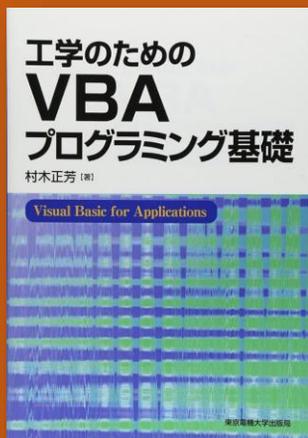
- 1 建築情報学へ
建築情報学会 2020
- 3 陰翳礼讃・文章読本
谷崎潤一郎 新潮文庫 2016
- 2 建築知識
エクスマレッジ 月刊誌
- 4 パブリックスペースの作り方
忽那裕樹 他 学芸出版社 2021

1. 建築に対して全く新しい切り口や価値観、倫理などを持った人が書き上げた本です。これからのメタバースにおける建築の在り方を考えたい！建築という分野において自分の考え方に幅を持たせたいという人におすすめです。

2. 建築の法規・設備・意匠に関する最新の情報を、図解付きで分かりやすく説明してくれる本です。テレワーク用の自宅の間取りなど建築のトレンドを楽しく学びたい人におすすめです。

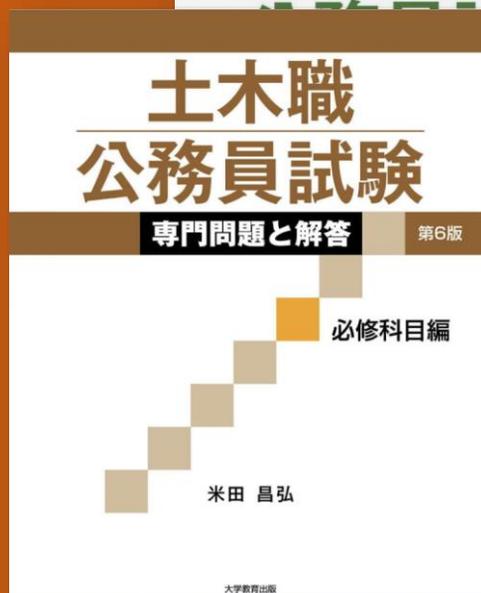
3. 日本の風情の神髄、雅とは何かを学びたい学生に必見です。必須読書といっても過言ではないほど多くの建築家から愛された一冊です。日本建築の考えを養いたい人におすすめです。

4. 屋外スペースの新たなありかたを見つけるための本です。製図の課題で舗装や植栽の考え方に困ったらこの本を見てみてはどうでしょうか。図面・凡例・解説の三拍子がそろった一冊です。

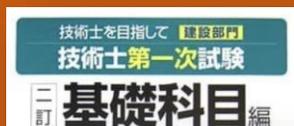


1

土木



2



3



4

LIBRARY

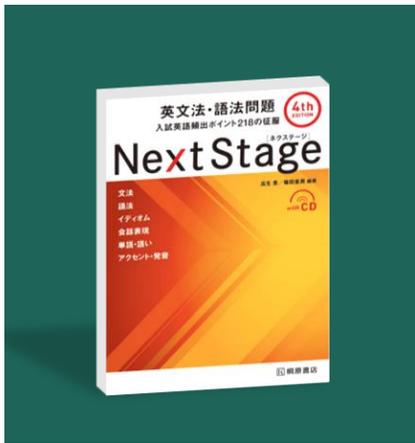
- 1 工学のためのVBA
村木 正芳 東京電機大学出版局 2016
- 2 土木職 採用試験 問題集
米田 昌弘 大学教育出版 2020
- 3 技術士を目指して 建設部門
技術士第一次試験
熊谷 浩二 米倉 亮三 山海堂 2021
- 4 わかっていますか!! SI単位系
地盤工学会 2000

1. 何か一つ、プログラム言語を使えるようになりたい！ 舞鶴高専の建設科ではこの言語を使うことが多いので間違いなし！
将来的に事務作業でも大活躍な言語の一つです。

2. 土木公務員を目指している人、土木関係の資格取得を目指している人におすすめの一冊。
内容は土木は三力の基礎から施工管理など、実践的なものまで。公務員試験など多肢選択式の問題をテンポよく解けるようになるろう！

3. 技術士補の資格取得に向けて試験科目についての基礎知識を得たい人におすすめ。基礎科目編では主にシステム設計や設計倫理、品質管理から電磁気学を。専門科目では都市計画から鋼構造、電力土木などの基礎を魔場ぶことが出来ます。

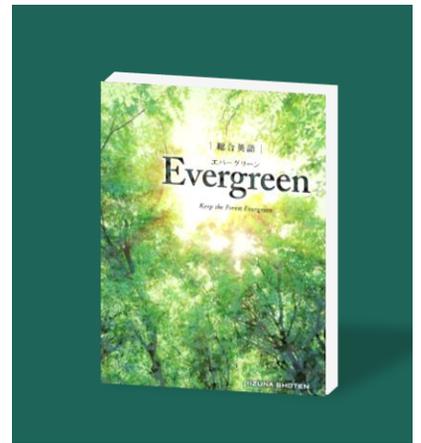
4. 土木分野によく出てくる単位について深く学びたい！公式の意味を復習したい人におすすめです。
地盤工学会の出版する本ということもあり、例題が沢山あるのでテスト前に解きたい人におすすめです。



1
Next Stage
瓜生豊 篠田重晃
桐原書店 2014



2
一億人の英文法
大西泰斗 ポール・マクベイ
東進フックス 2011



3
Evergreen
奥タカユキ 川崎芳人他
いすな書店 2017

高専生は英語だ！

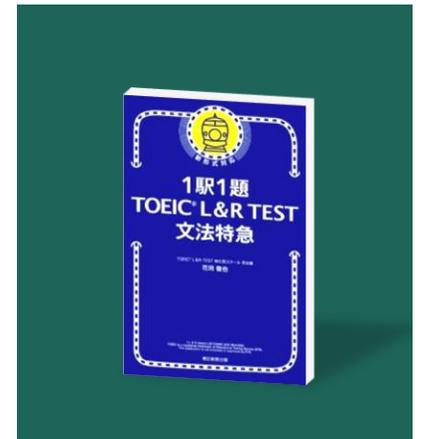
英語のできる高専生は正に鬼に金棒



4
世界一わかりやすい英文法の授業
関正生
KADOKAWA 2018



5
TOEIC L & R TEST
出る単特急 金のフレーズ
TEX加藤
KADOKAWA 2018



6
1駅1題
TOEIC L&R TEST 文法特急
関正生
KADOKAWA 2018

1. 英文法・語用問題・作文・読解など大学編入で合格点をとるために前提となる知識がこの一冊に纏められています。

2. 単語力はある人が頭の中で文法を素早く整理するための本です。“話せる英語“を学ぶために、誰もが躓く基本語彙の問題を豊富なイメージ解説が後押ししてくれます。

3. この本は辞書のような使い方が合っています。勉強中にわからない英文法を調べたい、テスト前にパラパラめくって復習をする、そういった使い方がおすすめの一冊です。

4. 英文法が苦手だという人におすすめです。とりあえず、英語の興味の有無に関わらず読んでほしい一冊です。この本を読んだなら少しは英語が好きになれるかもしれません。

5. ターゲット層は600点前後。教科書のキクタンによって、英語力がついた学生のステップアップとしておすすめです。勉強方法を少しアレンジするだけで取り組むことが出来る一冊です。

6. 金のフレーズをマスターした学生。さらに上へ行きましょう。ターゲット層は同じ600点です。主にTOEICのPart 5,6を中心とした攻略が本書で出来ます。

MAIZURU KOSEN.LIB



そして、表紙は 飾られた

元『そして、バトンは渡された（瀬尾まいこ）』
血の繋がらない親の間を振り回されながらも
出逢う家族皆に愛情を注がれてきた主人公。
とにかく明るく読者にも元気が伝わり心が洗われ
れます。'19年本屋大賞受賞作品

岡本実穂 さん作

若林先生(以下若林)

図書館と何をモデルとしたのが不思議に感じた。

今村先生(以下今村)

おどろおどろしい感じが出ていて良い。「魔人探偵脳
噛ネウロ」という漫画を思い出しました。
実写加工が判りすぎるのでイラストに寄せるとより良
くなると思いました。

徳永先生(以下徳永)

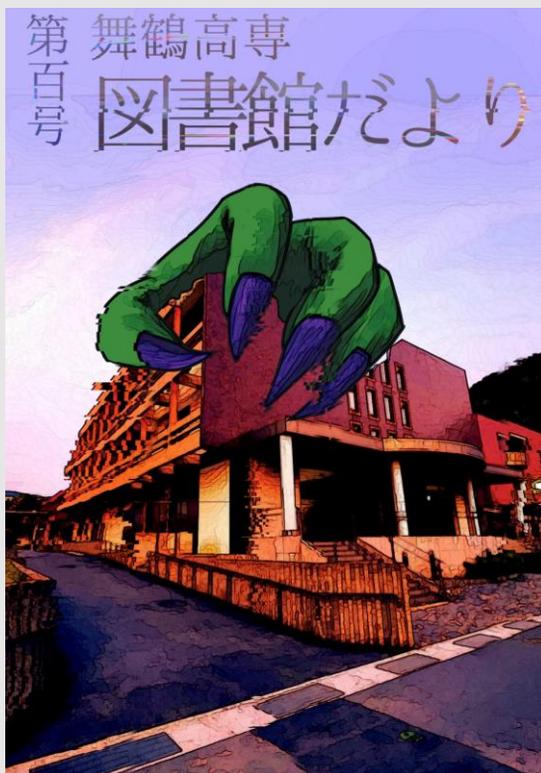
メッセージ性の強い作品という印象。
デジタルなノイズに虚構性の主張を感じた。

芦澤先生(以下芦澤)

建物をベースに画像処理したところが面白いです。
「利用しないとなくなってしまうよ」というメッセ
ージが込められてるのでしょうか。
緑の手がなくても十分であったのではと感じました。

図書委員

左面をデジタル風にノイズを入れ図書館を虚像っぽ
くしている。それに悪魔が手をかけるところに良い風
刺を感じた。



名倉時春 さん作

若林

難しいですね、唯一の写真作品で目を惹きました。

今村

青空と巨木のコントラストが良いですね。
文字が入っていないので、なんの表紙か分かりづら
いかなと思いました。

徳永

本校の原風景を感じる一枚。
良い季節、時間帯を狙って撮影されている。

芦澤

空の青さと緑のコントラストが素晴らしい写真だと思
います。
題字がないなど、レギュレーション的にOKですか？

図書委員

縦の1/3ライン、横の1/2ラインが意識されており良
い構図だと感じた。正統派写真の枠として選出。



田邊真子 さん作

若林

図書館だよりっぽい絵だと感じた。本を読むということが伝わってくるデザインだと感じた。

今村

「本を読む」というイメージが明確に伝わってきますし、動物が可愛いです。草の表現などの粗さが多少気に入りました。

徳永

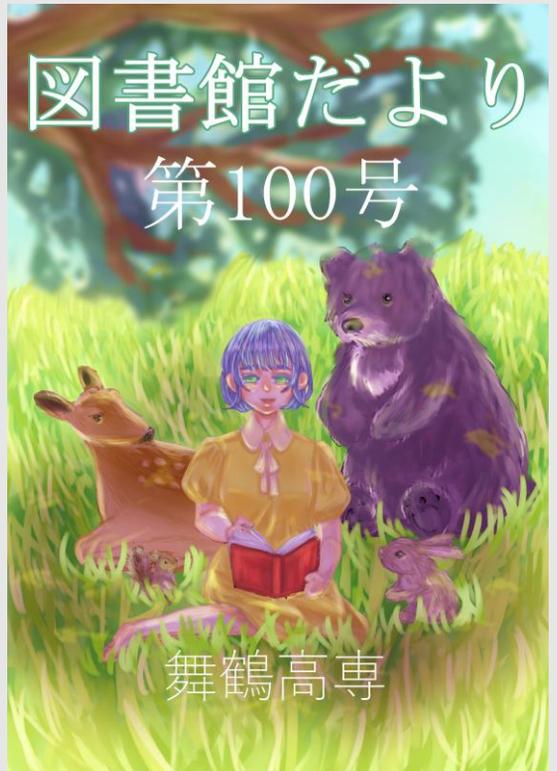
柔らかいタッチが魅力的。独特の光沢感が作品を特徴づけている。

芦澤

とても親しみの持てるタッチだと感じました。自然を感じながらの読書も良いですね。舞鶴高専にはサルもイノシシも出ます。動物のチョイスが惜しい。

図書委員

作者が動物たちへ読み聞かせをしている所が、図書館の在り方を物語っていて良いと感じた。絵本原画のような表紙として選出。



和泉穂花 さん作

若林

水墨画っぽくてこっているデザインだなと感じました。

今村

鶴がすごく上手。日本画風で、雰囲気あります！全体の明度が低く、若干暗いのが気に入ります。

徳永

緊張感と暖かみが共存した作品。作者の息遣いが伝わってくる。

芦澤

デジタル時代に運筆を感じさせる作品というだけで好きと感ずます。薄めの和紙を使っているところに惹かれます。工学との融合ニュアンスが入ってくるとパーフェクトですね。

図書委員

表紙として水墨画のような絵は筆の運びがわかりとても良いと感じ選出しました。高専の文字と鶴の色を統一して、目の運びが考えられていると感じました。



中村茅稀 さん作

若林

最初の作品と同じで、図書館としてのイメージがわかりづらかった。

今村

実際の本の表紙を使ってるんですね！芸が細かい！

アニメ絵に抵抗がある人もいるので、よりマッドでポップな表現にしたほうが、万人受けすると思います。

徳永

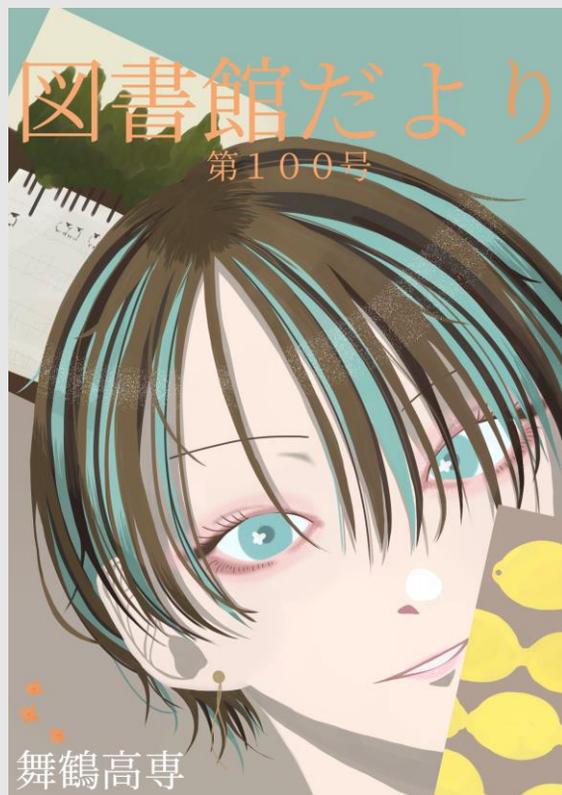
切れのある表現。シャープな輪郭と柔らかみのある配色のバランスが良い。

芦澤

中性的な風貌、No.6と対照的にデジタルな手法丁寧な色づかいが魅力的な作品だと感じました。

図書委員

髪の色と背景を同系色にするところに美しさを感じました。羊と鋼の森や檸檬の表紙に絵に採用している所に本への愛を感じました。



匿名 さん作

若林

若さがあると思います。

今村

色使いが美しく、高専らしいモチーフが一方向に進んでいる感じが清々しくて良いです。ただ、「図書館だより」としては、高専らしくはあるが、図書館らしさがあまりないような気がします。

徳永

透明で未来感に溢れる作品。フォントへの配慮も行き届いている。

芦澤

個人的には31:26表記が好きです。mi26（まいづる）ですね？
でも、1日が24時間を短いと感じることはありませんか？

図書委員

高専が輝かしい道を歩いてきたということが感じられました。足跡が伸びているのにセンスを感じました。色使いもポップで若々しさを感じました。



表紙絵

ももちさん作

若林

バット見て良いと感じた

今村

和風の雰囲気が良いです。赤色が鮮やかで目を惹きます。ただ、窓際の机とマグカップのせいで、物体の前後関係が分かりづらくなっているのが多少残念に感じました。

徳永

優れた配色。図書館棟とコーヒーサーバーの組み合わせも秀逸。

芦澤

目を引く構図、赤の使い方、時代を感じさせる雰囲気は素敵です。いろは歌の切れ目とカーブの頂点が連動すると、なお良かったと思います。「舞鶴高専の図書館だより」という観点において必然性の弱さを感じました。

図書委員

100号ということで丸を意識した赤の使い方が素晴らしいと感じました。図書館の字の中にトショカンと入っているのに遊びを感じました。

本書を作成するにあたり
協力していただいた先生方

図書委員担当教員

大内真一郎先生

対談していただいた先生方

五十音順

芦澤 恵太先生	喜友名朝也先生
石川 一平先生	小島 広孝先生
井上 泰仁先生	谷川 博哉先生
今村友里子先生	田村 修一先生
上杉 智子先生	徳永 泰伸先生
内海 淳志先生	七森 公碩先生
馬越 春樹先生	平尾 恵美先生
奥村 昌司先生	藤田 憲司先生
小野伸一郎先生	牧野 雅司先生
加登 文学先生	山根 秀介先生
木村 健二先生	若林 勇太先生

スペシャルサンクス

竹原 豊先生

この度は惜しみない協力
貴重なお時間をいただき
ありがとうございます。





独立行政法人 国立高等専門学校機構

舞鶴工業高等専門学校